



教会短信

2011年10月9日

No. 41

牧師 間瀬 善彦

わたしが20歳前後の頃、「人生は出会いで決まる」という小冊子がありました。人生においてわたしたちは様々な出会いを体験するわけではありますが、何に出会うかによってその後の人生が決まるという内容でした。

わたしがクリスチャンとなり、なぜ牧師となったのか、をお話します。我が家は神主をしている家ということもあって、父はわたしに神主になって欲しかったようであります。しかし、わたしは浪人生の時に友人に誘われて初めてキリスト教会に行き、イエス・キリストの救いを信じてクリスチャンになりました。

教会という所がどのような所であるかも知らず、ただキリスト教は外国の宗教であると思い込んでおりました。また、教会という所に行く人はよほど立派な人たちの集まりで、自分には場違いな場所だと思っていました。そのようなわたしがなぜ教会の礼拝に出席したのかと言いますと、それはただ友人に対する義理以外の何ものでもありません。

初めて教会に出席して、印象深いこととして今でも覚えている出来事があります。初めてきた者であるということで、教会の方が話をしてくださったのですが、その時に読んでくださった聖書の言葉が印象的でした。「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう」(聖書口語訳マタイ 11:28)。わたしの聖書の言葉との最初の出会いです。自宅に帰ってからもなぜかこの聖書の言葉が忘れられませんでした。当時自分では大きな重荷を抱えているという実感はありませんでしたが、「あなたがたを休ませてあげよう」という言葉にホッとさせられました。今から思うと、浪人生というのは不安定な状態で、これから先自分がどうなるのか、大学に入ったとしても、その先どのような人生を自分が歩むのだろうかと考え、不安は尽きませんでした。そうした心の状態に慰めを与え、新たな希望を与えてくれる言葉でした。

この聖書の言葉に引きつけられ、教会の礼拝に出席するようになって、教会に出席する人は特別に立派な人ではなく、すべての人は神の前では罪人であることがわかりました。人間の罪のためにイエス・キリストは私たちの代わりに十字架につき命を捨ててくださいました。わたしたちはこのことを信じるだけで、救われるのです。

まさに、聖書の言葉との出会いが、わたしの人生を変えました。1人でも多くの人に聖書の言葉に出会っていただきたいと願っています。

「人生の秋」に思う

当時 76 歳の母は日曜日に私が教会に行くことを快く思っていなかったようだ。「教会なんてつまらない。楽しい銀座へ行きましょうよ」といつも私を誘った。母を説き伏せて教会に行き、帰宅するとすぐ母を銀座へ連れて行った。私は祈るしかなかった。

78 歳になったとき、母は腸閉塞のため、築地カトリック教会の近くの病院に入院した。手術の前日、突然私に教会の神父さんと呼んで来るようにと頼み、大粒の涙をポロポロこぼしながら「洗礼をお願いします」と神父さんにすがるように頼みこみ、受洗した。そして「あの子をお願いします」と涙声で私のことを何度もお願いしていた。母の心の中に何が起きたのか私にはまったく分からない。幸い、手術は成功し、母は退院した。

母は私が教会に行くことを喜ぶようになり、日曜日にうっかり寝坊すると、「教会に遅れますよ」と私は叱られた。

だが、母は急に老け込み、私には、母の介護と勤務先の仕事とを何とか両立させる綱渡りの日々が続いた。母は、町内会から敬老の日にいただいた「カステラ巻き」を毛布にくるみ押し入れの中に隠して、すっかり忘れてしまい、「お前が、私の大切なお菓子を食べちゃった！」と泣きわめく母を見て、私は悲しかった。

私は今、78 歳、受洗した時の母と同じ歳になった。そして、「老いる」とは、どのようなことなのかわかってきた。眼鏡をなぜか冷蔵庫の中に入れてしまい、一日中、家の中を探しまわる。いくら書き直しても、まっすぐ字が書けない。ボタン一個かけるのに 2 分もかかるときもある。いままで楽に出来たことが出来なくなる。老いの悲しみが次から次へと私を襲う。時計の針は刻々と私の生きる時間を刻んでいく。

ある日、私はある本のなかでヘンリ・ナウエンの言葉に出会った。「・・・重要な問いは、『残された年数で何がまだ出来るか』でなく、『私の後に続く世代の人々の間で、私の人生が実をもたらす続けるために、どのように自分の死を準備するか』ということです」（ヘンリ・ナウエン『今日のパン、明日の糧』聖公会出版）。

そうだ、何も出来なくてもいいのだ。神様はご自分の御子を十字架にかけてまで、私を救ってくださったのだ。その愛を、自分の日常の生き方を通して次の世代に伝えていけばいいのだということに気が付いた。「私に出来るかしら？」「自信がないけれど、そのように生きていきたい！」何があっても、神様を賛美し、神様に感謝して生きていければ、“老い”は、決して悲しいものではないと思う。

キリスト教 特別伝道礼拝のご案内

10月30日（日）

午前10時30分～12時

メッセージ・藤澤一清先生

（元 花小金井キリスト教会 牧師）

聖書の内容を分かりやすくお話していただきます。

☆お話を聞いたあと、感想を言ったり、質問する時間があります。

☆礼拝の中で献金がありますが、自由です。

☆どなたでもご自由にいらしてください。

教会バザー

11月20（日） 12時30分 － 14時30分

今年も色々準備しております。

おいしいケーキなど召し上がりにおいでください。お待ちしております。

クリスマス集会

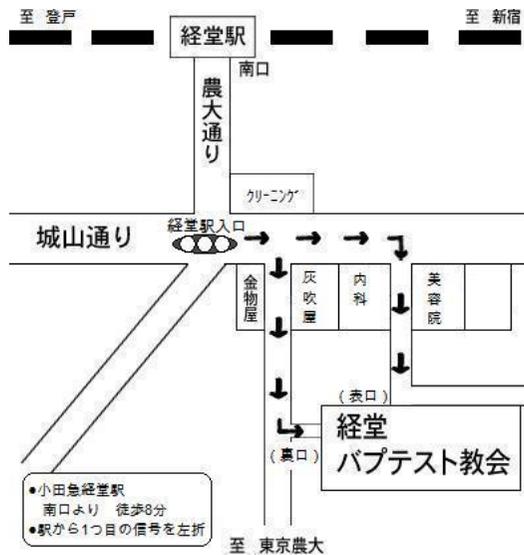
イブ礼拝・・・12月24日（土） 18時30分 － 20時

クリスマス礼拝・・・12月25日（日） 10時30分 － 12時



日曜日は教会へ集会案内

主日礼拝	日曜日	午前10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前11時45分～12時30分
	青年科・成人科	
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時30分～ 2時30分
聖書研究・祈祷会	水曜日	午後 7時30分～ 8時30分



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。

エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。